

# 線 *Line*

2014 教科書特集号

日文の実践事例、教科情報

詳しくはWebへ!

日文

検索

未来をになう子どもたちへ  
日本文教出版



スマートフォンやタブレットをかざすと動画が見られます!

本資料では、P.22とP.24に動画を収録しています

- 1 スマートフォンまたはタブレットで、ストアアプリを起動します。
- 2 「カザスマート」で検索し、アプリをダウンロード。
- 3 「カザスマート」アプリを立ち上げます。
- 4 ARマークがあるところをかざすと、動画が始まります!



※動画は、2014年8月31日まで視聴することができます。

日文Webサイト「平成27年度版小学校教科書」のご案内

日文 書写 27

検索

または下記にアクセスしてください。

<http://www.nichibun-g.co.jp/h27textbooks/s-shosha/index.html>



各種資料を  
ダウンロードする  
ことができます!



線 *Line*

2014 教科書特集号

日文教育資料[小学校書写]

平成 26 年 (2014 年) 5 月 1 日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社

大阪本社 大阪市住吉区南住吉4-7-5

TEL: 06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

題字・新谷泰嗣

CD33239

日本文教出版 株式会社  
<http://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5  
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16  
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14  
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F・B  
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1  
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690



特集 新版教科書はこう変わる！

平成27年度版「小学書写」内容紹介……………1

新版教科書「改訂のポイント」……………2

「各学年の特色」……………6

書写力向上宣言 宮本榮信×尾崎靖二

書写で育む「言葉の力」

学校現場の課題にどう応えるか……………18

徹底解剖

デジタル教科書で「書写」が変わる！……………22

※表紙に込めた想い※  
森華さんからのメッセージ……………25

著者

池田利広 大阪教育大学教授

萱のり子 大阪教育大学教授

関岡猪蔵 元日本書写技能検定協会理事

西橋靖雄 大阪教育大学名誉教授

浅田 徹 お茶の水女子大学教授

小倉太郎 筑波大学非常勤講師

尾崎靖二 プール学院大学教授

河合 茂 元大阪府立福泉高等学校教諭

関岡昌子 大阪城南女子短期大学非常勤講師

新谷泰一 京都橋大学教授

宮本榮信 元千早赤阪村立千早小学校校長

日本文教出版株式会社

特別支援教育・カラーユニバーサルデザインに関する校閲

大内 進 国立特別支援教育総合研究所客員研究員

特集

新版教科書はこう変わる！

平成27年度版

# 小学書写

内容紹介

「言葉を豊かにする教科書」をめざして

新版「小学書写」は、次世代を担う子どもたちが、生涯にわたって使う文字を正しく整えて書けること、そして学びをもとに豊かな発想で活用する書写力を身につけること、さらには、国語に親しみ、尊重する態度を育むことを基本方針として編集にあたりました。  
来春からの使用にさきがけ、「小学書写」の内容をご紹介します。

## 学習過程の3ステップ

原理・原則を楽しく学習

① かんがえる

文字を整えて書くための  
手立てを考え、書写の原  
理・原則を学びます。指  
でなぞったり、違いを探  
したりするなど、活動を  
重視した内容にしました。

## ② たしかめる

「①考える」で学習したことを理解・習熟するために、同じ要素をもつ他の文字を取り上げました。教科書への書き込み欄を設定し、主体的な学習を促します。

### ③ かいてみる

各学年の主教材は、一つ一つの教材を「①考える↓②確かめる↓③いかす」の段階を踏みながら学習できるように工夫しました。

単体の文字を視写するだけではなく、言葉や文章を書く活動につなげることで、確かな書写力と豊かな文字感覚を育みます。

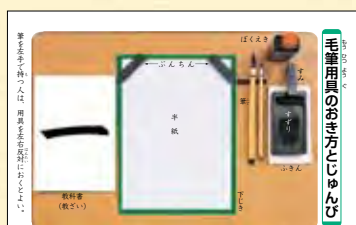
## 書く姿勢、用具の扱い方

よりわかりやすく丁寧に



一年P.2・3

書写の基礎・基本である姿勢・執筆のページを増やし、写真を大きくしたりポイントを示したりして、わかりやすくしました。



三年P.2



二年P.5



一年P.4・5



三年P.3~5



# 「もっと書く」

言語活動を重視して

### おすすめの本をしようかいよう

あやさんのクラスでは、これまでに読んだお気に入りの本を選んで「ようかいしるし」を「読書交流会」をするようになりました。

1 まず、自分が「ようかいしるし」の本のタイトルや、理由などを書きました。

2 次に、グループに分かれて、どんな方法で「ようかいしるし」をするかを話し合いました。

3 あやさんのグループでは、「本のリーフレット」を作って、ようかいしるしにしました。

4 最後に、友達にようかいしるしを伝えました。

5 読めやすくなるために、文字の大きさを、絵の大きさ、絵の位置、絵の配置などをよく考えて、作りました。

6 最後に、友達にようかいしるしを伝えました。

7 読めやすくなるために、文字の大きさを、絵の大きさ、絵の位置、絵の配置などをよく考えて、作りました。

### ふしぎな木の実の料理法

あやさん、お友達、お母さん、お父さん、みんな、ふしぎな木の実の料理法を、あやさんのグループで、作りました。

1 まず、あやさんが、ふしぎな木の実の料理法を、お友達に、お母さんに、お父さんに、みんなに、作りました。

2 次に、あやさんが、ふしぎな木の実の料理法を、お友達に、お母さんに、お父さんに、みんなに、作りました。

3 最後に、あやさんが、ふしぎな木の実の料理法を、お友達に、お母さんに、お父さんに、みんなに、作りました。

四年P.38・39

# 「広がる学び」

書写学習から日常生活へ

### 広がりの学び

年がじょうの書き方

明けましておめでとうございます

1月1日

山口市立小中学校

石川まゆみ

### はがきの書き方

おはようございます

長浜市宮部町七丁目五

清水公紀様

小林まなみ

### お礼の手紙の書き方

お礼の手紙の書き方

お礼の手紙の書き方

お礼の手紙の書き方

二年P.31

# 文字に対する自覚と関心

子どもたちの未来に向けて

「伝統と文化を大切にすること」を育む

### 漢字の始まり

漢字の始まり

漢字の始まり

漢字の始まり

### 漢字の伝承

漢字の伝承

漢字の伝承

漢字の伝承

六年P.2・5

「国語に対する関心」を高める

### 国語に対する関心

国語に対する関心

国語に対する関心

国語に対する関心

三年P.42

「手書き文字の意義」を考える

### 手書き文字の意義

手書き文字の意義

手書き文字の意義

手書き文字の意義

四年P.31

「人とのつながり」にふれる

### 人とのつながり

人とのつながり

人とのつながり

人とのつながり

五年P.5

# ユニバーサルデザイン

全ての子どもたちに「学びの楽しさ」を

### ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザイン

六年P.19

六年P.36

一年P.11

「伝え合う」ことを重視し、国語や他教科、総合的な学習の時間、日常生活などと連動した「広がる学び」のコーナーを設定しました。



わくわくどきどき一年生！  
早く文字を書きたいな。

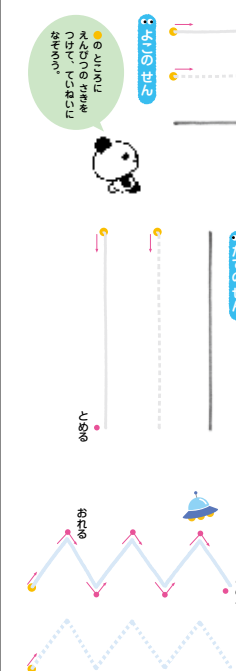


① はあ かいてみよう！

なぞってみよう



楽しく学習する工夫

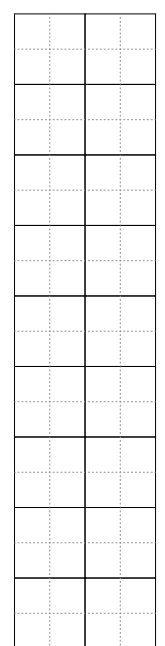


「線遊び」で、まず鉛筆と  
仲良くなろう。  
文字の基礎・基本となる書  
写活動へとつながります。

一年P.22

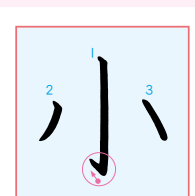
なまえ

② はあ かいてみよう！



一年P.6・7

点画の特徴を楽しいイ  
ラストで表現！  
子どもたちの文字への  
興味が広がります。



はあ

平仮名・片仮名を丁寧に

いつでも五十音表で確認！  
文字の形や書き方がきちんと  
身に付きます。



一年P.32・33

教科書への書き込み

かたち

かたちに気をつけてかこう。

かたち

かたちに気をつけてかこう。



学習したらすぐに実践！  
学習の成果を足跡として  
残します。

一年P.27

日常生活での活用

えにつきのかきかた

一年P.17

身近な出来事を伝えよう！  
書写の時間で学習したこと  
が、子どもたちの日常生活  
にいかされます。



遊びを取り入れて楽しく学習！  
子どもたちの書く意欲が高まります。









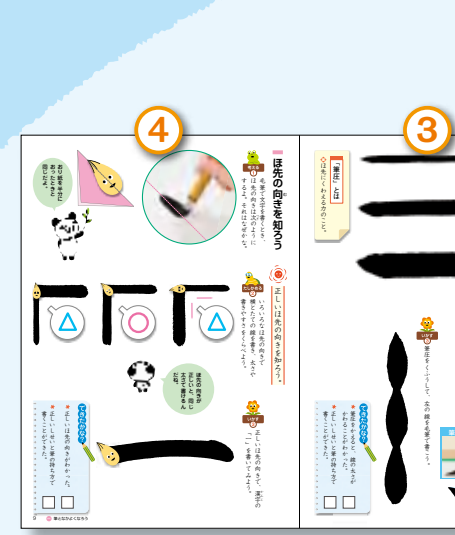
初めての毛筆学習！  
うまく書けるかな。



三年P.6・7



三年P.8・9



「気づき」を重ねて

新しい用具との出会い！  
文字を書く前に知っておきたい筆  
の特性を、順を追って体感します。



① 他の筆記具と比べてみる  
鉛筆やフェルトペンとの違いに気づく。

② いろいろな線を書いてみる  
直線や曲線が書けることに気づく。

③ 筆圧の強弱を確かめる  
筆圧によって線の太さを変えられること  
に気づく。

④ 穂先の向きを確かめる  
穂先には正しい向きがあることに気づく。

## 小学書写 三年

毛筆用具のおき方とじゅんぴ  
書くしせい  
筆記具の持ち方  
用具の後しまつ

① 筆となかよくならそう  
● 筆を持つて書いてみよう  
● 筆圧を知ろう  
● 穂先の向きを知ろう

② 筆使いを学ぼう①  
● 横画  
● たて画  
● おれ  
● はらい  
● 筆じゅんの決まり

人 日 土 一

③ 漢字の組み立て方を学ぼう  
● 漢字の「へん」と「く」に  
なるほど書写教室

④ 筆使いを学ぼう②  
● はねと点  
● 曲がりとおれ  
● そり

⑤ ひらがなの筆使いを学ぼう  
● 曲がりとはらい

心 小 山 比 力

⑥ 文字の配列を学ぼう  
● 文字の中心と行の中心

⑦ まとめ  
● 三年生のまとめ  
字形が整う三つのポイント  
三年生で習う漢字（二百字）

水 五

● 横に書くとき  
お礼の手紙の書き方  
もつて 調べたことをほつてくする文を書こう  
小筆で「自分の名前」を書こう  
ローマ字で「名刺」を作ろう  
ひらがなの表  
ほ先の通り道をたしかめよう

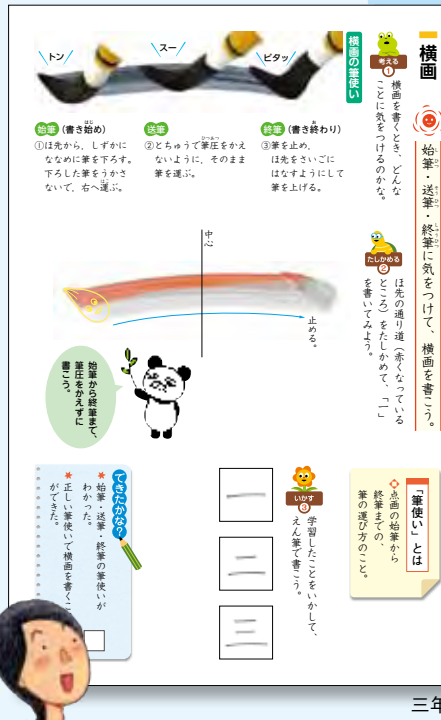
小筆の持ち方や扱い方、後始末の仕方を確かめます。



三年P.22



筆使いをわかりやすく



三年P.10

平仮名と片仮名



三年P.43

筆使いは、連続写真と  
擬音で理解！  
視覚的にとらえて、書  
き方をマスターします。



小筆を使って



三年P.22



巻末折り込み

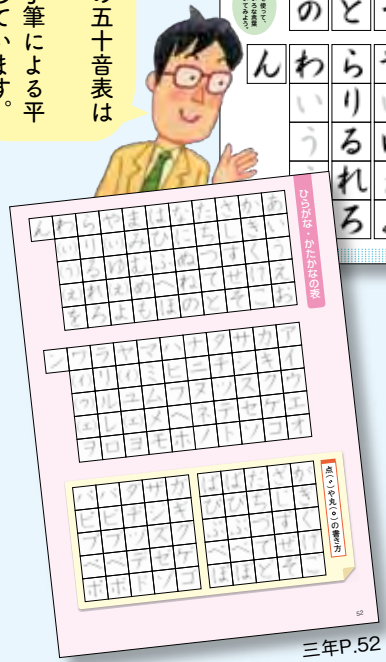


三年以上の学年では、巻末に  
長半紙原寸大教材を掲載！  
書き初めや展覧会の題材とし  
て使用できます。



三年P.45～48

平仮名と片仮名の五十音表は  
全学年に掲載！  
三・四年では、小筆による平  
仮名の表も掲載しています。



三年P.52











# 六年

六年間でいろいろ学んだね！  
誰に、何を伝えようかな。

## 広がる学び

作品の作り方 — 卒業に向けて —

- 1 どんな作品にするのかを考える  
● どんな言葉で書きたいか。  
● 誰に何を伝えたいか。  
● 何に書くか。
- 2 書き始める  
● 書き始める前に、書きやすいように準備。  
● 書き始める前に、書きやすいように準備。  
● 書き始める前に、書きやすいように準備。
- 3 書き終わる  
● 書き終わる前に、書きやすいように準備。  
● 書き終わる前に、書きやすいように準備。  
● 書き終わる前に、書きやすいように準備。



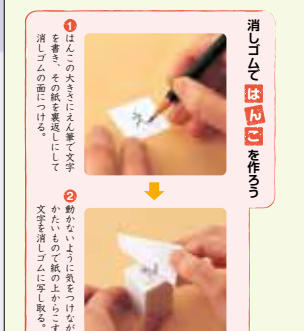
六年P.40～43

卒業に向けた作品制作を掲載！  
書写で学習したことが、いろいろな場面で活用でいかされます。



## 消しゴムはんこ

消しゴムはんこを作ろう



六年P.44～47

## 感謝状

感謝状を書こう



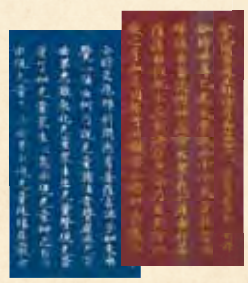
## 表現

表現を作ろう



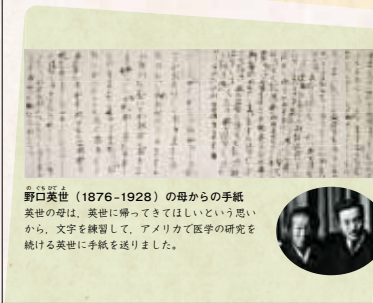
## 「書く」文化の継承

大切な言葉を伝える



奈良時代に書かれたお経  
大切な仏教の教えを広めるために、朝廷は専門の書き手を養成して、お経をたくさん写させました。  
(右：国家 金光明最勝王經、左：華嚴經疏 奈良国立博物館蔵)

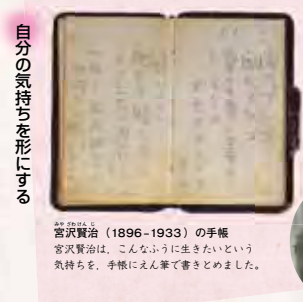
遠くの人に思いを伝える



六年P.3・4

## 伝えるものがある

日本は、文字を書くことを伝承してきた。それは、さまざまなものを残してきた。それらは、何を伝えるようにしたのか、考えてみましょう。今、書写を学習するみなさんは、これから文字を使って、どんなことを伝えたいですか。



六年P.18

文字が書かれた背景を知ること、文字に対する自覚と関心がいっそう高まります。

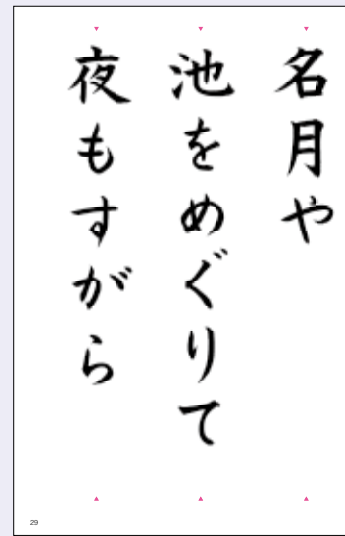


## 自ら考え、判断する力

一 行の中心と字間・行間



六年P.27



六年P.29

小学書写 六年

姿勢と用具のあつかい方  
学習の進め方

- 一 思い出して書く
- 二 文字の組み立て方を考えて書く
- 三 点画のつながりを考えて書く
- 四 文字の大きさと配列をを考えて書く
- 五 筆記具の持ちようをいかして書く

六 まとめ

- 六年生のまとめ
- 字形が整う三つのポイント
- 希望の朝
- 六年生で習う漢字(百八十一字)

メモの取り方

作品の作り方 — 卒業に向けて —

経験をもとに自分の考えをまとめよう

平板名と片仮名がてきるまで

伝えるものがある…

身の回りの文字に目を向けよう

平板名のもとになった漢字

「行書」で書けるかな？

紙面に対する文字の大きさと配列を学習！  
読みやすく書くポイントを身につけます。





## おぎや すじ 尾崎靖二

ブール学院大学教授。教育委員会指導主事、四条  
堰市・交野市の小学校長、交野市教育センター、  
中央教育審議会教科別専門部会（国語）委員、学  
習指導要領解説国語編作成協力者などを歴任。

## 書写力向上宣言

宮本榮信×尾崎靖二

# 書写で育む 「言葉の力」

学校現場の課題にどう応えるか

日文教育資料「線 Line」で「書写のコ  
コが知りたい!」と「国語からの提言」  
をご担当いただいたお二人に、教育現場  
での書写指導のあり方について、お話を  
うかがいました。

みやもと しげのぶ ぼくどう  
宮本榮信（墨童）  
元大阪千早赤阪村立千早小学校校長、「墨童書道  
会」主宰。大阪府教育委員会指導主事、大阪府内  
の公立幼・小・中の校園長、大阪府市小・中学校  
書写教育研究会会長などを歴任。



## どんな教科書を目指すのか

宮本

各地域の書写研究会に行きますと、  
先生方から様々な課題をうかがいます。  
用具の整理、作品の掲示方法、三年生  
の毛筆指導などについてです。そして、  
日常生活や学習活動に書写をどのよう  
にいかせばよいか、ということに頭を  
悩ませておられます。

尾崎

そうですね。特に今は、学校現場で  
授業改善が進んでいます。表現活動を  
するときにも、子どもたちが考えた  
話し合ったりするなかで、表現力や書  
く力を伸ばすことをめざす授業が増え  
ています。先生方は、こうした「子ど  
も主体の学習」を支援するための教科  
書を求めておられると感じます。

宮本

新しい教科書の編集会議では、この  
ような現場の声に密着しながら、「言  
葉を豊かにする教科書」をメインテー  
マとして、三つの基本方針を立てまし  
た。まず一つ目は「基礎・基本的な知  
識と技能をきちんと身につける」こと、  
二つ目は「学習意欲を育てながら学ぶ  
力を身につける」こと、三つ目は「日  
常生活で活用できる書写力を身につけ  
る」ことです。言い換えますと、書写

の学習を通して手書きの意義に気づき、  
それを根づかせていくことや、文字に  
関する理解を深めることをめざすとい  
うことです。各教科の「書く」活動と  
連携しながら、自分の言葉を豊かにし  
ていくために、どんな教科書作りをす  
ればよいかについて議論を重ねてきま  
した。

尾崎

三つ目の方針に関しては、中央教育  
審議会の「実生活や学習場面に役立っ  
よう、内容や指導の在り方の改善を図  
る」という基本方針を実現するもので  
すね。そこで、今回は日常生活や学習  
活動に役立つ書写の能力を育てるため  
に、一貫して「言葉の力を支える」と  
いう観点を中心として、単元や教材の  
構成など、様々な点で工夫しました。

## 子ども主体の学習を支援する教科書

尾崎

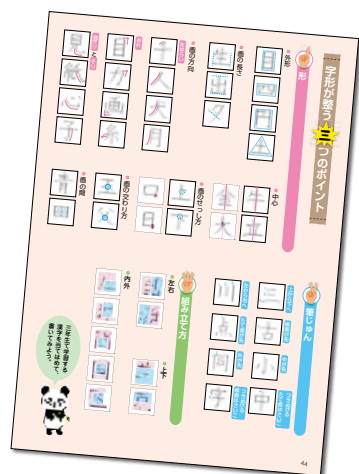
現場で求められている「子どもの主  
体的な学習」を支援するという意味で、  
編集上、二つのことを明確にしました。  
一つ目は「指導事項」です。授業で  
どのような知識・技能を身につけるか  
を子どもたち自身が把握できるように、  
単元構成を工夫し、それを目次にわ

かりやすく示しました。目次を見れば、  
この一年でどんな書写学習をするのか  
が自ずと把握できる仕組みにしたわけ  
です。ぜひ「目次から学ぶ」というと  
ころから始めていただきたいと思っ  
ています。

二つ目は「学習過程」です。子ど  
もたちが過去の学習内容を振り返っ  
て「何を習ったのか、何ができるよう  
になったのか」を確かめたいうえで、見  
通しを持って学習に入れるようにしま  
した。さらに、実際に書いたり表現し  
たりした後は、セルフアセスメント  
（自己評価）できる項目を設定しまし  
た。自分が学んだ知識・技能を確認す  
ることはもとより、どんなプロセスを  
経て学んだかという学習方法そのもの  
が身につく、すなわち子どもたちが自ら  
が学習方法を「メタ認知」できるよう  
にしています。

宮本

今おっしゃった「指導事項を明確に  
する」ということは、基礎・基本の  
能力を系統的に位置づけることに  
なっています。その観点から注目すべき  
は、今回の教科書では「漢字学習に関  
する知識教材を増やしている」点です。  
たとえば「なるほど書写教室」という



また、教科書の裏表紙に「チャレン  
ジ」という発展的な学習内容を扱った  
コーナーを設けて、文字に対する興味・  
関心を高められるように工夫していま  
す。文字というものを発展的に捉えさ  
せたり、子どもの「書きたい!」とい  
う意欲に応えたりするときに利用する  
とよいでしょう。



平仮名・片仮名の五十音表を重視

**尾崎** ユニークな試みとしては、一・二年の教科書で、平仮名と片仮名の五十音表をどちらにも提示したことが挙げられます。



さらに、三年以上の全学年の巻末にも平仮名・片仮名の五十音表を入れました。授業の現場では、子どもたちに正しく整った文字を書かせるのが難し

いという課題があるようですが、この五十音表があれば、その指導に非常に有効ではないでしょうか。

字形や字体について知識が必要なのは、低学年に限ったことではありません。思春期に近づく高学年になると、文字そのものを変な字体で書くこととする傾向も見られますから、正しい文字のあり方をもう一度振り返らせるためにも、五十音表が果たす役割は大きいと考えます。言語活動の授業では、一年では五十音表から四文字の語彙を探して言葉集めをしたり、高学年ではアナグラムなどの言葉遊びをしたりします。五十音表が低学年だけのものだという固定概念を捨て去ろうじゃないかという提案が、今回の教科書には含まれているのです。そして、私はこれが一覧表であるということに、特に値打ちがあると思っています。教科書のページを割いてでも、あえて一覧表を入れることに踏み切った、その意図を先生方に汲み取っていただければと思います。

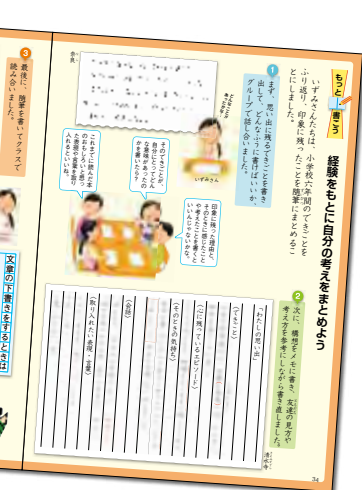
**宮本** 低学年だけの指導ではないという意味では、「姿勢・執筆」も書写指導の基礎・基本として全学年で徹底すべき

だと思っています。書写を日常生活にいかすという意味でも、全学年・全教科を通して習慣づける必要性を感じています。

「伝え合い」を大切にした教材

**尾崎** 「言葉の力を支える書写学習」という大きな観点のもと、「もつと書こう」、「広がる学び」、「各教材」という三つの内容で教材を構成しました。なかでも「もつと書こう」のコーナーは、国語科のなかに書写の指導事項をぜひ入れてやっていただきたいという強い願いを込めて、一年から六年まで系統的に配列してあります。一年生は「紹介」、二年生は「説明」、三年生は「調査報告文」、四年生は「読書紹介文」、五年生は「意見文」、六年生は「随筆」といった核となるもののなかに、書写的な活動を織り交ぜています。実際に国語科の授業で、どんな視点で書写とコラボレーションしていけばいいのかということの例示でもあります。

**宮本** 学習プロセスを大切にした教材の取り上げ方をしていますね。単に作品を書くための「書く力」だけではなく、



気持ちを伝えるためのメッセージカードから年賀状、礼状、依頼状、案内状など、学年ごとにバリエーション豊かな内容を扱っています。子どもたちが様々な方法で友達とコミュニケーションを取り、人間関係を築いていくという意味においても、各学年で取り組んでいたいただきたい内容です。

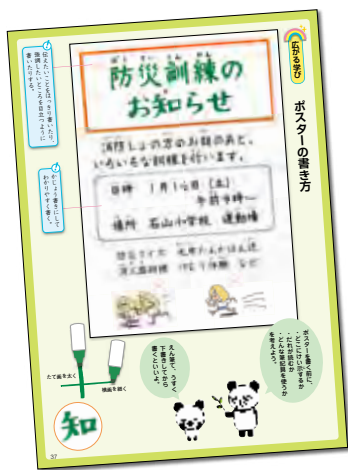
**宮本** 「各教材」では、その題材を国語科以外の教科からも取り上げていますね。その通りです。生活科からは観察記録。音楽からは「雪」、「もみじ」、「赤とんぼ」など、日本の故郷を感じさせるような歌詞を取り上げました。図工からは、掲示物とかポスターへの文

そして高めるだけではなく、国語科を中心とした各教科の言語活動を支えることを大きな目標として教材を作成しています。ぜひ有効に活用していただきたいと思っています。

**宮本** 日常生活や学習活動に書写をどのようにかせばいいのか。新しい教科書は、学校現場の先生方が日々感じているこうした課題にきっちり応えた内容になったと自負しています。そういった視点からも、ぜひ期待して今回の新しい教科書を手に取っていただきたいと願っています。

例えば取材でメモを取るとき、原稿用紙に感想文を書くとき、あるいは毛筆での清書のときというように、学習プロセスごとの「書く力」の必要性が示されています。国語科の授業で扱っていただくときにも役に立ちます。

**尾崎** 「広がる学び」に関しては、「伝え合い」というテーマを非常に重視しています。これは、今回の教科書の最大の特徴だといえるのではないのでしょうか。メモの取り方や手紙の書き方、友達に



字の書き方、総合的な学習からは、環境問題のフリップを作る過程などです。単に、書写の知識・技能を身につけ、





# デジタル教科書で「書写」が変わる！



書写の教科書が新しくなるのに伴い、「デジタル教科書」もリニューアルします！  
これまで以上に便利で使いやすくなった機能を、体験版の画面をもとにご案内します。

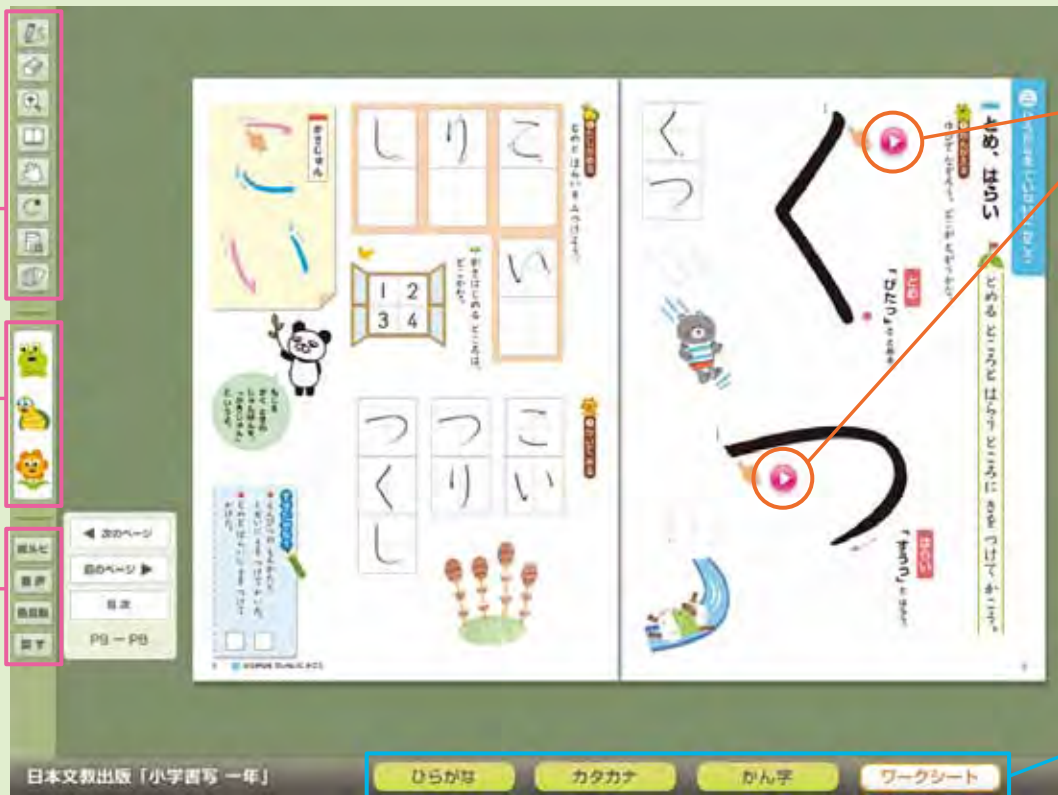
## 画面構成

### デジタルコンテンツボタン

デジタルならではのコンテンツを起動させるボタンです。動画やアニメーションをダイレクトに再生することができます。

### タブバー&タブ

タブをクリックすると、別ウィンドウが開きます。平仮名・片仮名の五十音表や、筆使いの動画リスト、点画ピースなどがあります。



### 基本ツール

めくる・書き込む・拡大するといった、デジタル教科書を操作するための基本的なツールを集約しています。

### 特別支援ツール

教科書紙面を、支援が必要な子どもたちをサポートする紙面に切り替えるツールです。

### 3ステップツール

教科書の「学習過程の3ステップ」に対応しています。各ボタンをクリックすると、対象範囲以外が半透明になります。

下図は「②確かめる」のボタンを押した状態。



## タブの一例

一年

P. 8・9で

ひらがな

をクリックすると…



その教材で学習した平仮名（新出文字）と、既習の平仮名が表示されます（学習が進むごとに、表示される文字が増えていきます）。  
文字をクリックすると、右上の枠にその文字が表示され、書き順のアニメーションを再生させたり、枠（ます目）を四分割させる点線を表示させたりすることができます。

三年

P. 10・11で

筆使いの動画

をクリックすると…



書写で学習する筆使いの動画が、リスト形式で表示されます。いつでも、どの教材からでも、見たい動画をすぐに見ることができます。  
※動画リストの写真は、現在開発中のものです。教師用指導書付録DVDに収録される正規版では、教科書に掲載される全毛筆教材の動画を収録する予定です。

一年

P. 8「く」の

をクリックすると…



が文字をなぞるように動き出す！

## デジタルコンテンツボタンの一例

三年

P. 10の

をクリックすると…



筆使いの動画が再生される！さらにアングルの切り替えも可能！



カザスマートでかざすと、動画を視聴できます。  
音量にご注意ください。

## 体験版DVDで、新しい機能をお試ください！

お問い合わせ 弊社Webサイト「ご要望・お問い合わせ」の「お問い合わせフォーム」よりお願い致します。

<http://www.nichibun-g.co.jp/>

※体験版DVDは、数に限りがございます。予めご了承ください。また、体験版のサポートは致しておりません。



今すぐTRY!!



その1

教科書を大きく映して、みんなで注目！



教科書をそのまま大きな画面に映し出すと、好奇心旺盛な子どもたちは、自然と前を向きます。視点を集中させて共通認識を持たせることにより、一体感のある授業展開が可能になります。

その3

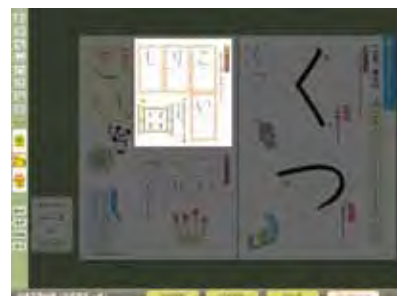
デジタルコンテンツで、コツを理解！



動画をいつでも見ることがあるので、基礎・基本の習得と確認に役立ちます。たとえば「筆使いの動画」では、穂先の通り道や筆圧がわかるように、全ての筆使い・文字に対して二つのアングルで収録しています。動画

その2

部分を目立たせて、ねらいを共有！



教科書を部分的に拡大表示したり、必要な部分だけを目立つように表示したりすれば、どこを説明しているかが明確になります。クラス全員を大事なところに注目させることができ、学習過程のスムーズな進行に役立ちます。

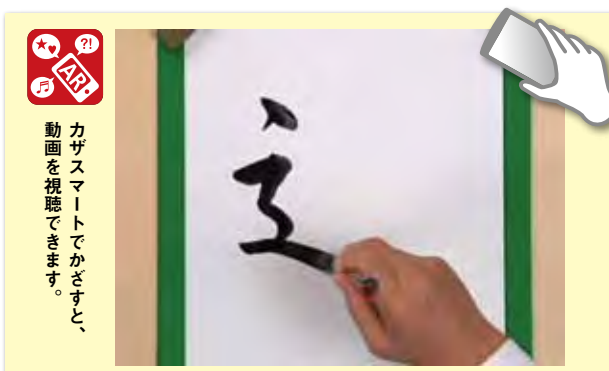
で学習させながら、指導者が机間指導するなど、子どもたちに毛筆で「書くコツ」をつかませるのに役立ちます。

〔真上から〕と〔斜め横から〕の二種類のアングルがあります。目的によって使い分けるとよいでしょう！



さらに

これまでは、筆使いの動画を見るためにはパソコンでデジタル教科書を起動しなければなりません。しかし今回は、メディアをCD-ROMからDVD-ROMに改め、さらにDVDプレーヤーでも認識できるIris方式を採用しました。したがって、パソコンとテレビの両方で「筆使いの動画」を見ることができるようになり、利便性が大幅に向上します。



カザスマートでかざすと、動画を視聴できます。



もり はな  
〈森華プロフィール〉

1976年愛媛県生まれ。京都大学大学院文学研究科修士課程修了（東洋史学専修）。出版社に勤務後、2007年よりフリーランスのイラストレーター・グラフィックデザイナーとして、雑誌・書籍・広告のイラストおよびグラフィックデザイン、『論語』を題材にした本作を中心に仕事をしている。著書に『論語絵本』（京都新聞出版センター他）、共同校訂書に『制度通』全2巻（平凡社）。

日本語の文字をじっと眺めていると、だんだん楽しくなります。漢字の部分部分に注目すると、太古の人々が見た天空の星々や地上の生き物たち、人間自身の姿が躍り出てきます。ひらがなのやわらかな曲線には、日本古来の「あはれ」の精神がたゆたっています。音を表すために作られたカタカナの短い線には、ロボットみたいなシンプルでコミカルな動きがあります。

紙の絵では、そんな書写の教科書にふさわしいよう、昔から日本にいた動物たちと、伝統的な模様を組み合わせ、いろいろなパースからひとつの文字ができる様子を楽しく表現しました。動物や模様の一部などが集まってどんな文字ができたのかは……裏表紙を見てのお楽しみです。

ひとつの文字がたくさんの線や点から成り立っているように、人間も理解しあい助けあうことで人の和が生まれます。日本の心と助けあう心、両方の「和」の心を胸に、のびのび楽しそうな表紙の動物たちのように、皆さんも楽しみながら書写に親しんでください。